

求められる学生像

建築学科が教育・研究の対象とするのは、都市環境を構成する建築であり、都市空間です。そこで求められる資質とは、その学問の重要性に裏付けられた社会的責任感であり、社会を引っ張る使命感、ものづくりに携わる多様な職能の人たちとの協調性、そして外国人とのやりとりも苦にならずにこなせるコミュニケーション能力です。

本学科では、そうした資質や意欲を持ち、様々な要素が絡み合う建築や都市空間を学ぶことに知的な面白さを感じることのできる、そんな意欲あふれる皆さんとの出会いを求めています。

アドミッションポリシー（入学者の受入方針）

1. 数理、人文、社会、語学などの総合的な基礎学力をもっている人
2. 建築や都市に大いに興味があり、学習意欲および行動力がある人
3. 的確な理論を構築し、それを適切に表現できる能力がある人
4. 造形や空間デザインに興味があり、それを美しく表現する意欲のある人



取得できる資格

- 学士（工学）：卒業を要件として取得できます。
- 一級建築士受験資格、二級建築士受験資格：国土交通省が定める指定科目を履修し、卒業すると得られます。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

建築学科を修了して「学士（工学）」を授与される学生は、以下のような能力を有します。

- (A) 人文科学・社会科学・自然科学・工学全般にわたる幅広い知識・理解
- (B) 技術倫理・環境倫理を理解し、モラルを持って行動できる能力
- (C) 自然科学に対する基礎的学力・応用力
- (D) 建築・都市に関する専門知識
- (E) 専門知識を活かした問題発見・解決能力
- (F) プロジェクト遂行能力
- (G) コミュニケーション能力
- (H) 生涯にわたり持続的に学習できる能力



卒業後の進路

大学院（本学都市環境科学研究科 建築学域など）への進学者が約6割を占めます。

就職は、幅広い民間企業、地方自治体、教育研究機関など多方面にわたります。大学院卒も含めたこれまでの主な就職先は、大林組、鹿島建設、清水建設、大成建設、竹中工務店、日本設計、日建設計、三菱地所設計、NTT ファシリティアーズ、積水ハウス、旭化成ホームズ、大和ハウス工業、住友林業、INAX、トステム、YKK AP、コクヨ、岡村製作所、東京都、横浜市、八王子市、相模原市、東京電力、三菱信託銀行、建築家やインテリアデザイナーの設計事務所などです。

入学試験案内

建築学科で学びたい方へ

入学試験は推薦入学試験と一般入学試験があります。

		入学試験時期
推薦入学試験		11月
一般入学試験	前期	2月
	後期	3月

- 募集要項の入手方法や入試日程の詳細、その他の入学試験については東京都立大学の入試案内ホームページをご覧ください。
<http://www.tmu.ac.jp/entrance.html>

- 入試に関するお問い合わせは
大学代表番号 042-677-1111（代）に電話し、
「管理部入試課の都市環境学部入試担当」と伝えてください。

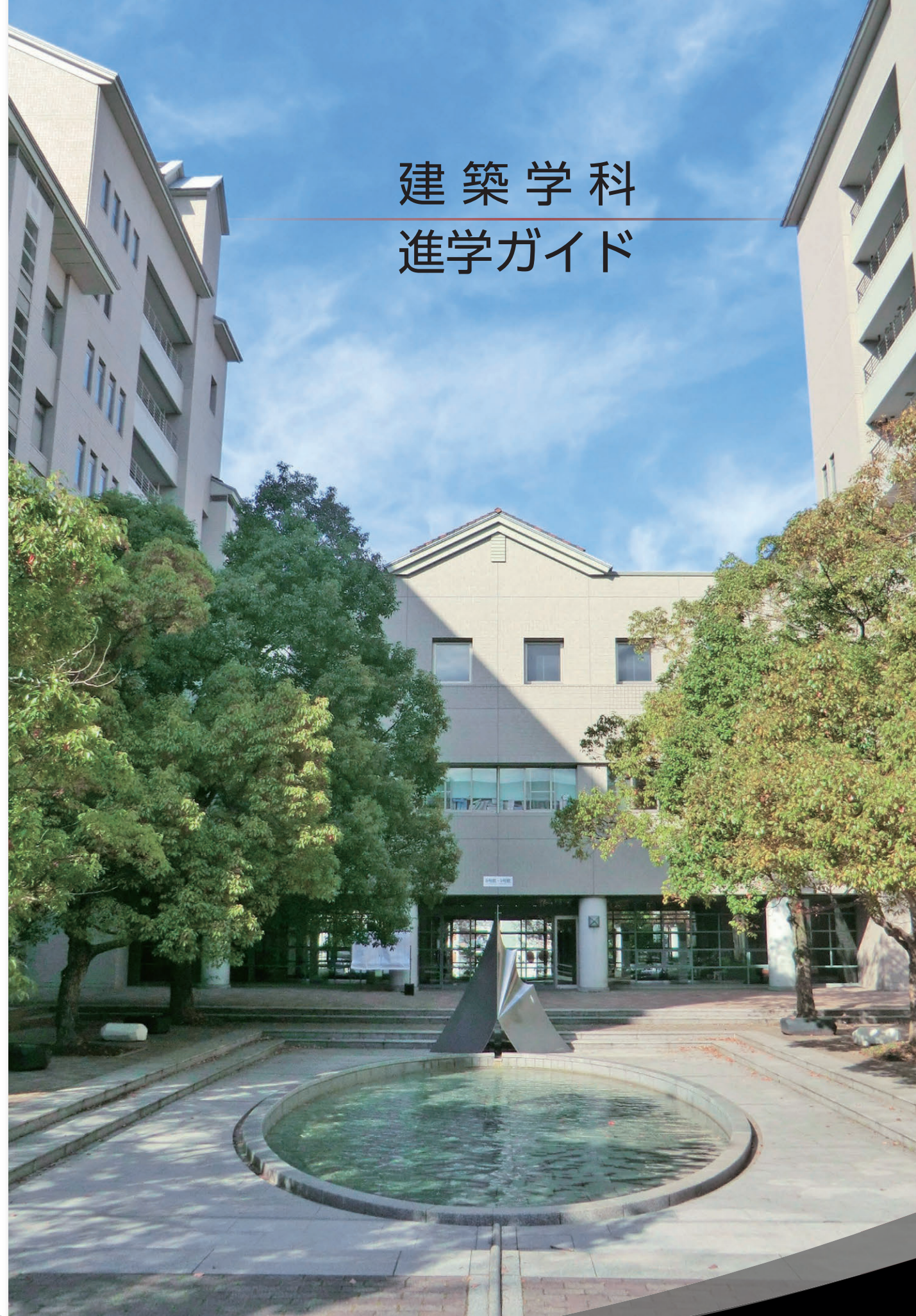
建築学科 進学ガイド

お問い合わせ

東京都立大学 都市環境学部 建築学科
〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1
京王相模原線「南大沢」下車 徒歩 12分

042-677-2792（建築学科事務室）
<http://www.ues.tmu.ac.jp/aus/>

東京都立大学 都市環境学部
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
FACULTY OF URBAN ENVIRONMENTAL SCIENCES



建築学科とは

建築学科は、建築と、それが集まってできる都市を、安全・快適で美しいものにする理論と実践に取り組む学科です。我が国の建築は、地震や台風など、災害の多い国土に建てられています。さらに急激な都市化によって、首都東京を始めとして建築が密集した都市ができあがりました。このことは、東京の建築と都市が抱えるさまざまな課題の解決が、たいへん困難であることを意味します。これは同時に、我が国を追いかけて都市化が進む国々や、都市災害に悩まされている国々で、東京の知恵が役立つということでもあります。そこで私たち建築学科は、建築と都市の課題を解決するための教育と研究を行っています。特に、東京が抱える大きな課題として、これまで蓄積された莫大な建築ストックの活用があります。平成15～19年度にかけて、建築学科の教員の多くが、文部科学省 21 世紀 COE プログラム「巨大都市建築ストックの賦活・更新技術育成」に取り組み、建築ストックを活かすための総合的技術を開発し、国際的にも非常に高い評価を受けています。また、ストックの活用とともに深刻なテーマである環境問題や少子高齢化に対して、平成 22～25 年度にかけて、首都大学東京リーディングプロジェクト「環境負荷低減に資する都市建築ストック活用型社会の構築技術」に、東京都と連携して取り組んできました。平成 25～29 年度には、首都大学東京アジア人材育成基金に基づく高度研究「アジア地域の風土と社会に根ざした持続可能都市建築の構築技術」において、国際的な研究教育を発展させてきました。こうした建築ストックの活用、環境問題や少子高齢化への対応は学科全体の中核的な研究課題として今日まで継続して研究が行われていますので、これからの建築学科の授業や研究に、その最新の成果が随所で活かされてゆくことも建築学科の大きな特徴のひとつです。

カリキュラムの特徴

建築と都市空間を学問対象とする本学科のカリキュラムは、建築都市に関わる幅広い知識を体系的に修得できるよう、各学問分野に関連した科目があり、1 年次では導入科目、2 年次に基礎科目、3・4 年次で応用・発展科目を受講することができます。科目には講義科目と演習・実験科目があり、講義科目では各分野の基礎から応用へのスムーズな展開だけでなく、各分野間の関連性にも配慮した内容となっています。演習・実験科目では、大学としてはトップクラスの充実度を誇る学内施設を使っての実験や、東京というロケーションの優位性を最大限に活かした新しい都市空間を構成する超高層ビルなど最新の建築見学や伝統的な木造住宅街地の街歩きなど特色あるカリキュラムが用意されています。特に、建築設計系科目では、どのような建築や都市を創るかという創造的な作業を通じ、講義科目で学んだ知識に基づき自ら問題を設定しつつ、説得力のある解答を探り出す能力を身につけることに重点を置いています。1 年次では建築図面の様々な表現方法を体得し、2 年次以降は美術館・コミュニティーセンター・学校・宿泊施設・住宅などの主要施設の設計を行い、さらに建築と都市の関係までをデザインする課題も用意されています。4 年次では、それまでの学習成果の集大成として、各分野の研究室に所属し、ゼミナールを通じて特別研究（卒業論文、卒業設計）に取り組めます。

建築学科で学ぶこと

建築学科で学ぶ学問分野には、下の図に示すように、建築の計画、建築のデザイン、建築の歴史、建築の生産、建築の構造、建築の環境と設備、都市の計画といった建築学の諸分野があります。高校の教科との関係をも、理系から文科系まで多岐にわたっています。高校までの勉強が総合的に役立つとともに、文学が好きの人でも、数学が好きの人でも自分を生かす場を見つけられることが建築学科の特徴です。入学後は、まず各分野の基礎を総合的に学びます。これは多くの問題が錯綜する大都市における建築と都市の課題を解決するためには、デザインだけ、都市計画だけ、といったばらばらの知識だけでは無理で、総合的知識が不可欠だからです。そして東京都の設置する大学であるという利点を活かして、東京を生きた教材とした実践的な演習によって、自ら問題を提起し解決する力を養います。目標は、建築全般の幅広い知識と技術を持ち、東京をはじめとする世界の都市における建築と都市の問題に取り組む建築、都市計画などの専門家となることです。



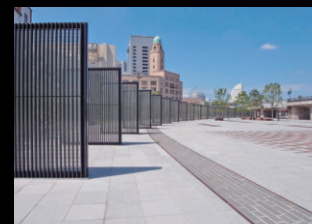
	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年通年	大学院
建築の設計		演 建築表現演習	基 建築設計製図I	基 建築設計製図II	応 建築デザインI	応 建築デザインII	発 建築デザインIII		
建築の環境と設備	演 環境と建築		基 建築環境学	基 建築環境システム	応 建築環境実験	発 建築環境設計演習			
建築の構造	演 建築構造力学I	演 建築構造力学II	基 建築構造力学III	応 建築振動学 応 木質構造	応 鉄筋コンクリート構造 応 建築鉄骨構造	応 建築構造実験 発 建築構造設計演習	発 建築構造力学IV		
建築の生産		演 建築物のしくみ	基 建築構法 基 建築材料学I	応 建築材料学II	応 建築生産 応 建築材料実験	応 建築施工管理			
建築の計画				基 建築計画I	応 建築計画II				
都市の計画			基 都市計画		応 都市・建築空間解析	応 都市設計			
建築の歴史			基 西洋建築史	基 日本建築史					
建築のデザイン					応 建築デザイン論				



建築設計製図II(2年生)の作品発表会



特別研究【卒業設計】(4年)の優秀作品模型



横浜・象の鼻パーク(小泉雅生教授が設計)



都市計画系の講義での歴史的街並みのデザイン・サーヴェイ



建築構造実験(3年)のコンクリート打設の様子



カセサート大学(タイ)との環境設計ワークショップ(学科行事)



建築デザインI(3年)の学生作品模型



特別研究【卒業論文】(4年)カタール・ドーハの高層建築海外調査



韓国国立韓京大学校・建築学部との共同ワークショップ(グローバルコミュニケーションキャンプ2019)



シンガポール工科大学とのグリーンビル共同調査研究

演 導入科目, 基 基礎科目, 応 応用科目, 発 発展科目